

科目名 病態と診療Ⅲ（1） 消化器	授業担当者 進藤 吉明	所属 中通総合病院 医局	
開講時期 : 中期	単位数 : 1 単位	時間数 : 30 時間(消化器 10 時間)	
授業の目的 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護者が果たす役割を学ぶ。			
授業の概要 テキストに従ってポイントをおさえて進めていく。 消化器疾患についての理解、検査法、治療法を学ぶ。			
受講上の注意・事前学習の内容 病気がみえる(テキスト)を中心に講義を行っていく。(視覚で覚える) 学校指定のテキストを各自読み込んでもらう。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	食道 胃	講義	
2	胃 十二指腸	講義	
3	小腸 大腸	講義	
4	肝臓	講義	
5	胆道系 膵臓 その他	講義	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 消化器 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 病気がみえる vol.1 消化器 第5版 メディックメディア			
参考書・指定図書			
評価の方法 試験、授業中の演習(口述も含む) 病態と診療Ⅲ100点満点中の40点			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります

科目名 病態と診療Ⅲ(2) 内分泌・代謝	授業担当者 栗崎 博	所属 さくら内科・糖尿病クリニック 院長	
開講時期 : 中期～後期	単位数 : 1 単位	時間数 : 30 時間 (内分泌・代謝 8 時間)	
授業の目的 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護者が果たす役割を学ぶ。			
授業の概要 恒常性の維持に重要な内分泌、代謝についてスライドを用い、講義形式で学ぶ			
受講上の注意・事前学習の内容 医療者として必要不可欠な知識を学ぶことになります。心の準備を怠らないように留意すること。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	恒常性の維持、内分泌とはなにか？	講義	
2	内分泌疾患	講義	
3	代謝とは？	講義	
4	糖代謝異常	講義	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 内分泌・代謝 医学書院			
参考書・指定図書 なし			
評価の方法 筆記試験 (病態と診療Ⅲ 30/100 点)			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります

科目名 病態と診療Ⅲ (3) 血液・造血器・感染症、アレルギー・膠原病	授業担当者 平山 雅士 栗崎 博	所属 中通総合病院 医局 さくら内科・糖尿病クリニック 院長	
開講時期 : 中期～後期	単位数 : 1 単位	時間数 : 30 時間(血液・造血器・感染症 8 時間、アレルギー・膠原病 4 時間)	
授業の目的 1. 全ての医療従事者が避けて通れない感染症。医療のプロフェッショナルを目指す皆さんに、必要な知識と必要な行動を学んでいただく。 2. 血液疾患の概要を理解し、看護師が果たす役割を学ぶ。 3. 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護師が果たす役割を学ぶ。			
授業の概要 日常の看護実践の中で比較的多く接する疾患の理解を深めることを主眼として、以下の疾患を中心に説明する。(平山) アレルギー、膠原病についてその病態について学ぶ。(栗崎)			
受講上の注意・事前学習の内容 内容が広範囲にわたるため、事前に資料を予習してください。(平山) 医療者として必要不可欠な知識を学ぶこととなります。心の準備を怠らないように留意すること。(栗崎)			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	感染症の基本、症状、検査、治療 ・感染症とは何か ・感染症を構成する要素 ・感染症の経路 ・感染症法 ・感染症の症状: 発熱、倦怠感、敗血症性ショック ・検査: 培養をとる(グラム染色、血液培養、尿培養、痰培養)、血清検査、PCR 検査、画像検査 ・治療: 抗菌薬とその乱用	講義	平山
2	話題の感染症、予防接種、職業感染対策 ・新型コロナウイルス感染症 ・結核と空気感染 ・耐性菌: MRSA、ESBL 産生菌、多剤耐性緑膿菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 ・感染制御 ・針刺し ・予防接種	講義	平山
3	血液の基本と貧血 ・赤血球、白血球、血小板の役割と造血 ・赤血球の異常: 多血症と貧血(鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、二次性貧血) ・血小板の異常: 本態性血小板血症、特発性血小板減少性紫斑病、DIC	講義	平山
4	血液悪性腫瘍と癌化学療法 ・白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群 ・癌化学療法の概要と必要な看護 ・造血幹細胞移植 ・ HLA と骨髄バンク	講義	平山
5	アレルギー総論、各論	講義	栗崎
6	膠原病総論、各論	講義	栗崎
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 専門 アレルギー 膠原病 感染症 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験 病態と診療Ⅲ100 点満点中、感染症 10 点、血液・造血器疾患 10 点、アレルギー・膠原病 10 点			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります